

芸術鑑賞会あいさつ

副校長 堀江 嘉明

本日は、『みかんの本文庫』の皆様にお越しいただきました。ありがとうございます。

さて、『みかんの本文庫』は、行永分校が位置するある舞鶴市のとなりにある福知山市で、みなさんが生まれるよりもずっと前の30年前、子どもたちが本を好きになってほしいという思いがきっかけで活動を始め、今ではいろいろな地域で活動をしておられます。

昨日、この舞鶴市も梅雨が明けました。ジリジリと外の温度が上がり、いよいよ本格的な夏をむかえようとしています。外の温度はみなさんの体温ほどの数値にあがっていくようです。

しかし、今から、暑い「ムシムシ」とした気持ちがふきとんで、心の中が「スーッ」とすずしくなる、そして、心の中が「わくわく」「ドキドキ」して、「おもしろいなあ」もっと「知りたいなあ」という「体験」ができることをとても楽しみにしています。

本のお話のよいところは、絶対に私たちは変身できない動物、例えば「ライオン」になって、ライオンの気持ちになるといった「体験」ができることでもあります。

みなさん、この「芸術鑑賞」を通じて、「人形劇」や「本」などの世界をもっともっと好きになり、さらに、「わくわく」「ドキドキ」して、興味や関心をさらに深めてください。